

平成 29 年度 第 1 回海老名市子ども・子育て会議 次第

日 時 平成 29 年 5 月 30 日 (火)

午前 10 時から

場 所 海老名市役所 政策審議室

1 開 会

2 議 題

(1) 子ども・子育て支援事業計画の平成 28 年度実績報告について

(2) その他

3 閉 会

<資料一覧>

【資料 1】平成 28 年度事業 実施状況報告書

【資料 2】事業計画達成状況（教育・保育関係）

【資料 3】平成 28 年度 事業報告書（子育て支援センター）

平成29年度 子ども・子育て会議 委員名簿

	氏 名	ふりがな	所属	職名
	久 保 由 美	くぼ ゆみ	(株) リコー テクノロジーセンター	
◎	鍛 治 邦 彦	かじ くにひこ	県中央地域連合	事務局長
	鍵 渡 香代子	かぎわた かよこ	海老名幼稚園	園長
	小 島 良 之	こじま よしゆき	つちのこ保育園	理事長
	櫻 井 慶一郎	さくらい けいいちろう	さくらい保育園	副園長
	山 田 由美子	やまだ ゆみこ	チュンマclub	代表
	木 村 伸 之	きむら のぶゆき	にこにこ保育園	代表
	吉 川 昌 宏	よしかわ まさひろ	PTA連絡協議会	大谷中学校 PTA会長
	増 田 芳 夫	ますだ よしお	社会福祉協議会	事務局次長 兼総務課長
○	鷺 野 昭 久	わしの あきひさ	中新田小学校	校長
	亀 澤 ますみ	かめざわ ますみ	民生委員児童委員 協議会	主任児童委員 部会長
	熊 澤 紀千代	くまざわ みちよ	国際ソロプチミスト 海老名	
	田 島 紀 子	たじま のりこ	公募市民	
	渡 部 理 子	わたなべ みちこ	公募市民	
	村 田 愛	むらた あい	公募市民	

◎印は委員長 ○印は副委員長

海老名市子ども・子育て支援事業計画

平成 28 年度事業 実施状況報告書



平成 29 年 6 月

海老名市子ども・子育て支援事業計画 進行管理の概要

1 海老名市子ども・子育て支援事業計画事業

海老名市では、「子ども・子育て関連3法」に基づき、平成27年3月に「海老名市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、海老名市の実情に応じた地域の子ども・子育て支援の充実に取り組んでおります。

この計画では、「社会全体で子育てを支援し、明るく元気なえびなの子どもたちを育てる」を基本理念に置き、6つの基本目標、14の基本施策の下に各事業を実施しております。

基本理念	基本目標	基本施策
社会全体で子育てを 子どもを も支 援し、 育 て る 元 気 な え び な の	1 新たなえびなの子育て施策	(1) 子ども・子育てに対する市民の意識醸成
		(2) 少子化対策の推進
		(3) 子どものスポーツへの支援
	2 幼児の教育・保育の課題解消に向けた取組の推進	(1) 幼児教育・保育施設の充実
		(2) 待機児童解消に向けた公立保育園のあり方
	3 地域における子育ての支援	(1) 地域における子育て支援の充実
		(2) 安全・安心な教育・保育環境の保全
		(3) 児童の健全育成の取組と推進
	4 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	(1) 母と子の健康保持増進
		(2) 食育の推進
	5 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	(1) 仕事と子育ての両立の推進
	6 要保護児童への対応などきめ細やかな取組の推進	(1) 児童虐待防止対策の充実
		(2) 母子家庭等の自立支援の推進
		(3) 障がい児施策の充実

計画の期間は、「子ども・子育て支援法」に基づき平成27年度から平成31年度の5年間です。

2 計画の達成状況の点検・評価策定体制

この計画では、各所管課における事業の進捗状況について、点検・評価を行っています。点検・評価については「海老名市子ども・子育て会議」において、継続的に点検・評価・見直しを行い、海老名市の状況や地域を取り巻く変化に

対応し、必要に応じた見直しを行っております。

なお、点検・評価の結果については、実施状況報告書として毎年作成しホームページ等で公表しております。

3 実施状況報告書の読み方

基本施策ごと所管課評価、子ども・子育て会議コメントを記載しています。

(1) 事務局（子育て支援課）で記載した部分

「子ども・子育て支援事業計画」に基づき転記

- ① 事業名
- ② 事業の説明
- ③ 目標値

(2) 各所管課等で記載した部分

- ④ 平成28年度実績値
- ⑤ 平成28年度実施状況

平成28年度に実施した事業について、子育て支援の視点に立った実績を記載。

⑥ 次年度以降に向けた改善点等

事業の成果や問題点を踏まえ、次年度以降の事業の取組みや改善点等を記載。

(3) 海老名市子ども・子育て会議にて記載した部分

⑦ 子ども子育て会議コメント

海老名市子ども・子育て会議」において、継続的に点検・評価行った結果を記載。

①		②		④			⑤	⑥		③			
掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度目標値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
65	子ども憲章の制定	海老名市の未来を支える子どもたちを健やかに育めるよう、海老名市で暮らし育つ子どもたちとその子育て家庭を、市民、地域全体で支える市民の意識づくり、355には、子どもも大人ともに関わり合い、お互いがいい思いと夢を育む社会づくりに向け、「子ども憲章」を定め、その普及・啓発を図ります。	数値目標なし	市が子育て世帯を積極的に応援する姿勢を表明するため、11月1日の市制施行記念式典において「HUG HUG えびな宣言」を行った。 また、宣言のアピール事業の一つとして、同日付で子育て応援サイト・アプリ「HUG HUG えびな」を公開。行政サービスメニューや子育て世帯向けのイベント情報を掲載を開始した。 なお、宣言策定にあたっては市内小中学生を対象にしたアンケートも実施した。			「HUG HUG えびな宣言」の普及・啓発を図っていく。また、子育て応援サイト・アプリ「HUG HUG えびな」のPRを行う。	数値目標なし	数値目標なし	子育て支援課			

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課										
基本目標1 新たなえびなの子育て施策																基本施策(1) 子ども・子育てに対する市民の意識醸成									
1	65	子ども憲章の制定	海老名市の未来を支える子どもたちを健やかに育めるよう、海老名市で暮らし・育つ子どもたちとその子育て家庭を、市民、地域全体で支える市民の意識づくり、さらには、子どもも大人もともに理解し合い、お互いがいきいきと暮らせる社会づくりに向け、「子ども憲章」を定め、その普及・啓発を図ります。	数値目標なし				市が子育て世帯を積極的に応援する姿勢を表明するため、11月1日の市制施行記念式典において「HUG HUG えびな宣言」を行った。 また、宣言のアピール事業の一つとして、同日付で子育て応援サイト・アプリ「HUG HUG えびな」を公開。行政サービスメニューや子育て世帯向けのイベント情報を掲載した。 なお、宣言策定にあたっては市内小中学生を対象にしたアンケートも実施した。	「HUGHUG えびな宣言」の普及・啓発を図っていく。また、子育て応援サイト・アプリ「HUG HUG えびな」のPRを行う。	数値目標なし	数値目標なし			子育て支援課											
2	65	お宝一生米事業	海老名市の明日を担う“えびなっ子”誕生を海老名市全体でお祝いするため、出生届の受け付け時にお祝いの品を贈呈します。 お祝いは、「お宝一生米」と銘打ち、米1升とします。これは、「子どもが一生元気ですこやかにこせるように」との願いを込め、名づけたものです。米は、郷土愛をはぐむため、県下有数のところである海老名市産の米や、姉妹都市である白石市のある宮城県産の米を優先して用います。	H27年度をもって事業廃止							数値目標なし	数値目標なし			子育て支援課										
3	65	紙おむつ支給事業	赤ちゃんの必需品であるおむつは、出産直後の家庭の経済的負担ともなります。産後うつにもなりやすいこの時期に、市で紙おむつを支給することで、海老名市全体で育児をサポートし、精神的にも経済的にも子育て世帯をサポートします。	配布数	6,050袋			6,504袋	市民が出生届を提出した際及び4か月健診の際に紙おむつを3袋ずつ計6袋贈呈した。	引き続き実施し、4か月健診への円滑な案内、家庭の経済的負担の解消に努める。	数値目標なし	数値目標なし			子育て支援課										
審議結果			・市民の意識醸成のためには、市側の事業展開と積極的なPRが必要であり、ひいてはこれが定住促進にもつながる。今回、HUGHUGえびな宣言実施により、子育て世帯への積極的な応援を市としてアピールできたこと、またインターネットを利用した子育て支援サイト・アプリの「HUGHUGえびな」の立ち上げなどの事業展開は大いに評価できる。宣言したことで満足するのではなく、今後とも継続した事業展開と各種イベントブースなどを利用した積極的なPRを打ち出されたい。																						

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
基本目標1 新たなえびなの子育て施策					基本施策(2) 少子化対策の推進										
1	66	子ども医療費助成の継続	海老名市では0歳から中学生までの市内在住の子どもを対象に、ケガや病気などで医療機関を受診した際の医療費の助成を行っています。医療機関受診時に保護者が支払う医療費のうち、保険診療の自己負担分を助成します。	子ども医療費助成対象者数	18,107	17,986	17,847	所得制限を設けず、市内在住の0歳から中学校修了までのお子様に対して通院・入院の医療費の助成を行うことで、お子様の健やかな成長を助け、子育て家庭の経済的負担を軽減いたしました。	引き続き市の単独事業を用いて中学校3年生までの医療費助成を実施するため、検証をしっかりと行い事業全般についての検討も進めていきます。	子ども医療費助成対象者数	18,239	18,292	18,529	18,446	子育て支援課
2	68	病後児保育	子育て支援センター内の専用スペース(病後児保育室(いちごルーム))で、病気の回復期にある生後8週間から小学3年生までの子どもを一時的に預かります。	病後児保育利用者数	114	70	98	病気の回復期やケガなどの児童を一時的に預かることにより、親の子育てと就労等の両立を支援しました。また、事前登録制度を廃止し、利用者の負担を減らしました。	利用率の向上を図るため、平成29年度は利用時間を拡大し、利用の促進を図っていきます。	病後児保育利用可能人数	624	624	624	624	子育て相談課
3	68	病児保育	小学3年生までの市内在住の子どもを対象に、急な病気等の時に対応できるよう病院内に設けられた専用スペースで、治療中の児童を一時的に預かります。	数値目標なし				病院内での開所に向け、医師会や市内病院と調整を図りましたが、実施体制の構築が難しいとの回答を得ました。	引き続き医師会等の関係機関と必要な調整を図ります。	病児保育利用可能人数		500	500	500	子育て相談課
4	69	不妊治療・不育症治療への助成	海老名市在住者で、神奈川県が実施する「特定治療支援事業」で助成を受けた人を対象に、特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)に要した保険診療外の費用の一部を助成します。 また、不育症治療に要した保険給付対象外の費用の一部を助成します。	数値目標なし				特定不妊治療費助成金については、延べ115件の申請があり、不育症治療費助成金については1件の申請があった。	引き続き、医療機関や市民への周知を図っていく。	数値目標なし					健康づくり課
審議結果			・子ども医療費助成については、自己負担なしで中学生までを対象とした県下トップクラスの助成内容であり評価できる。子どもの疾病の早期発見、早期治療のためにも今後とも継続されたい。 ・病後児保育については、利用者が少ないように感じられる。利用率向上のため利用時間の拡大等に取り組まれない。また、病児保育の利用については、利用ニーズを見極めながら実施について検討を継続して行われたい。												

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
基本目標1 新たなえびなの子育て施策					基本施策(3) 子どものスポーツへの支援										
1	71	オリンピック強化指定選手などへの支援	海老名市体育協会と連携し、少年少女スポーツクラブの育成、高度スポーツ誘致、また高度スポーツ誘致事業において合わせて実施している各競技別クリニックや教室を内容充実しながら継続して実施し、スポーツ競技力の向上を図るとともに、トップアスリートを輩出する環境づくりとして、日本代表選出やオリンピック強化指定を受けた選手などに、各競技大会参加に伴う遠征費用助成やスポンサー提携の斡旋など新たな支援策を整備します。	数値目標なし				・高度スポーツ誘致事業 今年度実績なし ・各種競技別クリニックや教室 今年度実績なし ・オリンピック強化選手への助成(1件) 該当者:長崎 美柚さん 種目:卓球 交付額:40万円	東京2020オリンピックに向けてオリンピック等強化指定選手に対する強化・サポート等の報奨金を交付する。	数値目標なし					文化スポーツ課
2	71	児童への屋内プール無料開放	天候に左右されずに快適な施設で安全な管理のもと、夏季における小学生の健康増進・体力の向上、水泳に親しむ機会の提供と水泳競技人口の増加等を目的に、夏季休業期間中の屋内プールを小学生に無料開放します。	数値目標なし				日時 平成28年7月1日(金)～8月31日(水) 利用人数 15,324名(昨年比:1,613名減・27年度16,937名) 内訳:小学生低学年 3,624名 小学生高学年 6,888名 同伴者 4,694名 中学生 118名	平成29年度は、無料開放期間を平成29年5月1日から平成30年3月31日まで延ばし、HP等で更なる周知をして利用者の増加を図る。	数値目標なし					文化スポーツ課
3	72	部活動の充実	子どもが伸び伸びと、安全に部活動を実施できるよう、知識と経験を備えた指導者の派遣、地域社会の文化・スポーツの中心として地域活動推進に協力する部に支援するなど、生徒の心身の発達に重要な役割を担う、部活動の充実を図ります。	数値目標なし				・平成28年度は49名の外部指導者を派遣。 ・より専門的な技術指導が可能になり、教職員と共に指導にあたることで、指導体制の充実を図っている。	・部活動検討委員会(仮称)の設置 ・海老名市中学校におけるよりよい部活動の在り方や教職員の負担軽減について検討・協議し、海老名市の方針を定める。	数値目標なし					教育支援課

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
4	72	小学校スポーツ大会の実施	子どものスポーツに対する興味、自己記録への関心、意欲の向上を図るための小学校連合運動会を開催します。	数値目標なし				平成28年10月28日(金)に実施 参加児童数は市内小学校6年生1,231名 当日は途中雨天のため、一部の種目を未実施で解散する	・他校との児童とこれまでに以上に交流できるように種目を変更する。 ・予算を踏まえ、バスによる移送方法を検討する。	数値目標なし	数値目標なし				教育支援課
5	72	学校施設の開放	小中学校の運動場、体育館を休日等に開放していることを周知し、利用者を増やすとともに、夜間の照明付運動場の開放等、学校スポーツ施設の活用を図ります。	数値目標なし				夜間照明付運動場(577件、16,800名)、体育館(5,590件、128,000名)	引き続き、市民の交流の場として、学校スポーツ施設を利用してもらえるよう周知を図る。	数値目標なし	数値目標なし				教育総務課
6	72	海老名市・白石市・登別市少年少女スポーツ交流事業	宮城県白石市、北海道登別市は、海老名市と都市間交流事業を結んでおり、「水泳交流」や「少年野球交流」など、スポーツを通じた児童・生徒の交流を行っています。異年齢の子どもや幅広い世代との交流など、スポーツを通じて子どもの豊かな人間性・社会性を育むため、今後も推進します。	数値目標なし				・えびな少年少女スポーツクラブ都市間スポーツ交流事業 日時：平成28年8月5日(金)～8月7日(日) 訪問場所：宮城県白石市(登別市も合同) 種目：サッカー 参加者：えびな少年少女スポーツクラブ 少年サッカー 21名 (指導者3名、選手18名)	平成29年度も、同様に交流を図る予定。	数値目標なし	数値目標なし				文化スポーツ課
審議結果			・子どもの体力低下が指摘されている昨今、「たくましく生きる力」を育むためにもスポーツの推進は重要である。オリンピック強化選手への助成は、次世代の育成だけでなく、スポーツを通し地域の子どものたちへ夢を与えることにもつながる。継続して実施されたい。												

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
基本目標2 幼児の教育・保育の課題解消に向けた取組の推進															
【資料2】「海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況(教育・保育)」参照															

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
基本目標3 地域における子育ての支援															
基本施策(1) 地域における子育て支援の充実															
1	88	利用者支援窓口の拡充	子ども・子育て支援新制度に伴い、今後は、市の子ども・子育て支援課担当窓口、子育て支援センターを総合窓口とし、相談する保護者がそれぞれ望む保育サービス、教育・施設等が選択できるよう、施設等の情報提供などをし、利用者支援の拡充に取り組めます。また、海老名市に住む外国籍の保護者が、市の子ども・子育て支援課担当窓口を利用しやすいよう、英語等での対応ができる職員の配置なども取り組めます。	窓口設置数			1	平成28年度から、保育園・幼稚園の相談窓口として「保育コンシェルジュ」を配置し、相談対応を行っています。子育て支援センターでは、誰でも気軽に利用できるよう施設の情報やHP、ポスター、パンフレットにより紹介しました。また、利用者支援のため、情報コーナーを設けて子育てに関するさまざまな情報を提供しました。	保育コンシェルジュを引き続き配置し、市内保育施設との連携を図りながら的確な案内に努めます。子育て支援センターでは、外国籍の保護者が子育て支援センターを利用しやすいよう、事業の内容に合わせて英語版、中国語版のパンフレットを見直ししていきます。	窓口設置数	1	1	1	1	子育て相談課 子育て支援課
2	90	地域子育て支援拠点事業の充実	海老名市立子育て支援センター（すくすく）では、子育て中の保護者とその子ども、これから子育てを始める人を対象に、子育てを支援しています。現在、育児に関する不安や悩みの解消に役立つよう、サークル活動の場や育児情報等の提供、子育てサークルの育成、新しいサークルの立ち上げなどの支援等を行っており、今後も継続して取り組めます。	数値目標なし				平成28年度から親子サロン・広場は、地域のコミセンを会場とし回数を増やして実施しています。移動サロンの開催回数を各地域月1回から月2回へ拡大しました。また、年齢別サロンの開催回数も月4回から月8回に拡大しました。	平成29年度中に東柏ヶ谷地区に東部子育て支援センターを開設し、引き続き地域の子育てを支援していきます。また、健康づくり課の保健師とも連携し、子育てにかかる相談を行うほか、各種子育て相談、子育てサロン、広場、各種講座及びサークル活動などを実施し、子育て支援の更なる充実を図ります。	数値目標なし	数値目標なし			子育て相談課	
3	91	子育て支援センター事業の充実	子育てに関する知識等を持つ保育所の専門的な機能を活用して、育児不安の解消や、子供・親同士が交流できる場を提供することを目的に、海老名市立子育て支援センター（すくすく）で、育児相談等を行っています。現在、地域の子育て家庭の養育ニーズに対応するため、育児相談のほか、子育て家庭交流事業、中高生と園児の体験交流等を行っており、今後も継続して実施します。	【資料3】平成28年度 事業報告書(子育て支援センター)											子育て相談課
4	93	子育て短期支援事業の充実	保護者の疾病、仕事等により、家庭での子どもの養育が一時的に困難となった子どもを対象に、児童養護施設等で一定期間、養育・保護します。市の広報誌等で周知に努め、利用を促進します。	利用者数			0	利用相談はありませんでした。	利用相談があれば、児童相談所等とも連携を図りながら、対応していきます。	利用者数	10	10	10	10	子育て支援課
5	95	ファミリー・サポート・センター事業の充実	ファミリー・サポート・センター事業は、預かる側の援助会員、サービスを利用する側の利用会員がともに地域住民同士であり、お互いを支援・援助するシステムです。今後も、保育所の送迎等のほか、急な残業や緊急時等における子どもの一時的な預かりなどにも対応できるよう、会員間で行う援助活動の調整等を行っていきます。また、今後の子育て支援の充実に向け、市では、会員条件、登録制度等についての情報提供を強化し、事業の充実に努めます。	利用者数	815	872	964	ファミリー・サポート・センターは、地域の人々が互いに子育てを支え合うことを目的に実施しました。援助会員の活動促進、会員増を図るため報奨金を支給することにしました。	援助会員が保育園や塾等に送迎する場合の利用料金について、送迎に要する時間は、援助活動として拘束される時間であることから、往復の時間を含めて利用料金の見直しを検討していく。	利用可能人数（6-11歳）	3,300	3,300	3,300	3,300	子育て相談課

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

[illegible]

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

[illegible]

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
基本目標3 地域における子育ての支援					基本施策(3) 児童の健全育成の取組と推進										
1	105	放課後児童健全育成事業(学童保育)	小学校の近隣に学童保育施設がない地区については、周辺状況等を勘案した上で、学校余裕教室等の活用あるいは学校敷地内や近接地における新たな施設建設等による対応方策を市で検討し、計画期間内に1か所以上の公設民営学童保育の設置による環境充実を図ります。新たに設置する学童保育は、一体型を目指します。 また、学童保育の施設や指導員等に関する基準を条例で定めることで環境の適正化や一定水準の確保に努めるとともに、学童保育の運営圧迫につながらないよう配慮しながら既存の市補助金制度を見直し、開所時間延長をはじめとした保護者ニーズへの対応促進や条例で定める運営基準の推進を目指します。 様々な形態で行われている現在の学童保育のうち主に保護者会運営の学童保育については、運営主体の法人化に向けた情報提供等により、安定的な運営を支援していきます。	登録人数	894	920	1,059	・事業者への運営補助拡充による支援 ・施設確保に係る支援 ・今泉小学校区における学童保育施設のあり方について継続して検討 ・就学援助世帯の保護者を対象とした保育料補助を新規実施	・条例基準未適合クラブに対する支援 ・今泉小学校区における学童保育施設のあり方に関する検討の継続	利用可能人数(6-8歳児)	670	671	681	677	学び支援課
				平均利用人数	55	149	847			利用可能人数(9-11歳児)	300	300	304	302	学び支援課
2	106	放課後子ども教室(あそびっ子クラブ)	海老名市においては、平成19年度から全ての小学校であそびっ子クラブを開設していますが、学校だけでなく地域の様々な大人も深く関わっている事業であることから、今後は市教育委員会の教育基本構想である「えびなっ子しあわせプラン」において推進する「学校・家庭・地域がとみにつくる海老名型のコミュニティスクール(おらが学校)」の一環として位置付け、地域とのつながりを基盤とした学校ごとの包括的な事業形態による実施を進めていきます。この事業の一部として、放課後に子どもたちの学習を支援する「まなびっ子クラブ」をあそびっ子クラブと同時間帯に実施し、放課後の過ごし方のさらなる充実を図っていきます。また、地域の大人が見守ることで子どもたちが安全・安心に遊べる環境を引き続き安定的に確保するとともに、現在行っている工作指導やスポーツ指導員の派遣をはじめとして子どもたちが様々な遊びを体験できるよう、活動内容の充実に取り組めます。	参加人数	66,570	68,851	71,089	・各小学校ごとに設置する「学校応援団」の取り組みとして、市内全校であそびっ子クラブを実施。	・子どもが安心して放課後を過ごせる場のさらなる充実を図る。	数値目標なし	数値目標なし				学び支援課

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
3	106	学童保育とあそびっ子クラブ	子どもたちが放課後を過ごす場である放課後子ども教室(海老名市におけるあそびっ子クラブ)と学童保育について、一体的(=学校内で両方を実施しており、放課後子ども教室が実施する共通のプログラムに学童保育に通う児童が参加できる状況)または連携(=放課後子ども教室が学童保育のいずれかを学校外で実施しており、放課後子ども教室が実施する共通のプログラムに学童保育に通う児童が参加できる状況)による実施が、全国的に求められています。 海老名市では、学校内外といった施設の場所に関わらずどの学童保育に通う児童も希望すれば各校のあそびっ子クラブに参加することが可能であり、小学校全13校のうち4校で一体的な実施、9校で連携による実施に近い状態が実現されているものと考えています。 今後は、全校において児童の参加体制や学童保育指導員の関わり方等について検討を行い、学童保育とあそびっ子クラブの連携がさらに強化され一体的な実施がされるよう目指します。	数値目標なし				・校内学童保育についてはあそびっ子クラブと必要に応じた連絡調整を行いながら円滑な子どもの参加が図られている。 ・校外の学童保育についても希望者は自由にあそびっ子クラブへ参加可能な体制が整えられている。	・学童保育の支援員とあそびっ子クラブのパートナー間の連携強化により、さらに充実した放課後の子どもの居場所づくりを目指す。	数値目標なし					学び支援課
4	106	余裕教室の活用	海老名市内の小学校における余裕教室は、少数にとどまる状況が続いています。海老名市の人口は緩やかに増加を続けており、余裕教室数も少ない傾向が続くと予想されます。しかしながら、放課後の利用が少ない特別教室等については、あそびっ子クラブ等で一時的に利用することでさらなる有効活用の可能性が考えられるため、各学校及びあそびっ子クラブと調整を図っていきます。	数値目標なし				・1校において余裕教室を1教室確保し、既存学童保育クラブの分割先として活用。クラブの条例基準適合を図った。	・学童保育施設としての教室の有効活用について引き続き検討を行う。	数値目標なし					教育総務課 学び支援課
審議結果			・共働き世帯の増加に伴い、児童が放課後を安心・安全に過ごすための居場所づくりの充実が求められている。 ・放課後児童健全育成事業(学童保育)については、事業所への運営補助や就学援助世帯の保護者を対象とした保育料補助を新規に実施等、各種施策に取り組んでおり評価できる。小学校に近接した学童保育施設が不足している地域についてのあり方の検討や、各施設におけるサービスの質の確保についても継続して取り組まれない。												

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

[illegible]

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

[illegible]

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

[illegible]

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
基本目標6 要保護児童への対応などきめ細やかな取組の推進 基本施策(1)児童虐待防止対策の充実															
1	113	子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	「子どもを守るネットワーク協議会」を設置して、要保護児童対策調整機関の職員や地域ネットワークを構成する関係機関等と連携を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応に努めています。	数値目標なし				①子どもを守るネットワーク協議会(要保護児童対策協議会):代表者会議1回、就学前実務者会議6回、就学児実務者会議2回、児童相談所との実務者会議を12回開催した。 ②幼稚園、保育園、小中学校へリーフレット配布により児童虐待防止のPRをした。 ③虐待を発見した時の流れを各機関職員全員に理解してもらう為、自作の紙芝居を作成後、市内幼稚園・保育園を巡回しPRに努めた。	虐待を発見した時の流れを各機関職員全員に理解してもらう為、自作の紙芝居で、市内小学校を巡回しPRに努める。	数値目標なし	数値目標なし				子育て相談課
2	113	「子ども相談」窓口の充実事業	親または親に代わる保護者による子どもへの身体的、精神的等の虐待は、子どもの心身の成長、人格の形成に重大な影響を与えます。子どもの人権侵害にあたる児童虐待を早期に防ぐため、相談員2名を配置し、子どもの相談 窓口の充実を図ります。	電話相談件数				1,120	725	1,010 (見込)	①虐待通告等により子ども相談員3名と職員2名は、虐待の通告を受けた場合、48時間以内に子どもの安全確認をし、面接・家庭訪問を行い、関係機関と連携をし、子どもの安全確認、育成に努めた。 ②子どものしつけ講座「NP」講座を6回、「ケア」講座を2回実施したことにより保護者が怒鳴ったり、叩いたりするしつけを回避することができた。	子どものしつけ講座の「NP及びケア」の講座について、引き続き実施していく。	数値目標なし	数値目標なし	
				来庁相談件数	127	111	100 (見込)			数値目標なし	数値目標なし				
3	113	養育支援訪問事業	児童虐待の予防のため、海老名市では平成24年度から開始しています。育児支援が必要な家庭に保健師等が定期的に訪問し、子どもへの育児状況等を把握し、子どもの保護者にあった支援を検討し、実施するものです。今後も継続して取り組みます。	訪問件数	19	18	15	15件の家庭が利用し、家事支援員・保育士・看護師・保健師を派遣している。養育状況を把握し家庭にあった支援を検討し実施しています。	養育状況等を把握し、子どもの保護者への支援を、継続して取り組みます。	利用可能人数	20	20	20	20	健康づくり課
審議結果			・保護者による子どもへの暴力や虐待は、特別な家庭にだけ起こる問題ではなく、どここの家庭においても起こる可能性がある社会全体の課題である。虐待の早期発見・早期対応、その後の支援へとつなげるために関係機関との連携体制の確立は不可欠である。「子どもを守るネットワーク協議会」などの連携を継続して実施されたい。 ・虐待防止の観点から、相談体制の充実や保護者向けのNP講座等の実施、養育支援訪問など様々な取り組みを実施しており評価できる。養育状況の把握は困難な面も多いかと思うが、今後とも継続して実施されたい。なお、NP講座講座等については、父親版の実施を検討されたい。												

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
基本目標6 要保護児童への対応などきめ細やかな取組の推進 基本施策(2)母子家庭等の自立支援の推進															
1	114	ひとり親家庭等医療費助成事業	現在、海老名市では、18歳未満の子どもを養育するひとり親家庭（母子家庭・父子家庭、養育者家庭、父または母に一定の障害のある家庭）を対象に、保健診療の自己負担分の医療費を助成しています。ひとり親家庭生活の安定と自立を支援するため、今後とも取り組みます。	対象者数	1,900	1,938	1,937	保険診療の自己負担分の医療費を助成し、ひとり親家庭生活の安定と自立の支援を図りました。	引続きひとり親家庭生活の安定と自立を支援するため、今後も取り組めます。	数値目標なし		数値目標なし			子育て支援課
2	114	児童扶養手当	18歳未満の子どもを養育するひとり親家庭を対象に、手当を支給します。所得等に制限があり、支給者等の前年所得が限度額以上である場合には支給されない等の制限があります。海老名市では、今後も継続して、ひとり親家庭生活の生活の安定や自立を支援するため取り組みます。	受給者数	773	763	768	児童扶養手当受給者に対し、3回（4月、8月、12月）手当の支給を行いました。 なお、平成28年8月分以降から第2子及び第3子以降の手当て加算額を変更しました。 第2子 5,000円～10,000円 第3子以降 3,000円～6,000円	引続き、ひとり親家庭生活の安定と自立を支援するため、今後とも継続して取り組んでいきます。	数値目標なし		数値目標なし			子育て支援課
3	115	相談窓口の設置	ひとり親家庭で子を養育する母親は、悩みを抱えやすい状況にあります。現在、ひとりで悩みを抱え込まないよう、母子・父子自立支援員等を配置した相談窓口業務を行っています。今後も、相談等への対応、自立に必要な情報提供等を行い、相談窓口の充実を図ります。	相談件数	840	869	1,058	ひとり親家庭の様々な相談に応じ、職業能力の向上や求職活動に関する情報提供など、自立に必要な支援を行いました。	必要な情報提供を行うとともに、関連機関と連携しながら包括的に支援を行います。	数値目標なし		数値目標なし			子育て支援課
審議結果			・社会的、経済的にさまざまなハンデを負うことが多いひとり親家庭に対しては、自立支援、経済的支援、相談体制の充実など様々な支援が必要である。今後とも上記事業の継続実施はもちろんのこと、今後は各種資格取得のためのサポート体制の更なる充実など支援強化に取り組まれないたい。												

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

No.	掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度実績値	平成28年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
基本目標6 要保護児童への対応などきめ細やかな取組の推進															
基本施策(3) 障がい児施策の充実															
1	116	療育相談の推進	健康診査等の結果により、発達の遅れや心身の発達に何らかの問題がみられる子どもの療育相談を、わかば学園にて行っています。今後も、発達に心配のある子どもとその家族が、安心して地域生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関連機関と連携しながら相談に応じます。	相談者数 (延べ)	960	1,113	1,224 (見込)	わかば学園に臨床心理士等の専門職員を配置し、乳幼児健診などで、発達につまづきを指摘されたお子さんに対し、初回相談(インテーク)により発達特性や療育の必要性を見極め、その後の療育に繋げる、いわば療育の入り口としての相談事業を実施している。	近年、発達障がいや療育に対する関心の高まりに合わせて、療育相談希望者が増えているため、インテーク相談の待機児が発生していた。その待機を解消するため、インテーク相談を充実させ、わかば学園だけでなく、民間事業所利用の調整を図る。	数値目標なし	数値目標なし			障がい福祉課	
2	116	通園療育の推進	海老名市では、学齢前及び学齢期の心身障がい児に対して、基本的な生活訓練や機能訓練等をわかば学園にて実施しています(児童福祉法による障がい児通所支援)。今後も継続して取り組み、心身の成長、発達の促進を図ります	利用者数	4,385	4,451	3,517 (見込)	わかば学園が児童発達支援センターへ移行し2年目を迎え、隔月のピアカウンセリング(わかばサロン)やペアレントトレーニングを実施するなど、より専門性の高い支援を提供している。	市内で療育を提供する事業所が増えたため、療育機関の連携をより深めるため、平成28年度から引き続き事業所連絡会を開催し、個別ケースの支援検討や、課題の共有を図り、市内事業所の療育の質を高めていく。	数値目標なし	数値目標なし			障がい福祉課	
3	116	統合保育の推進	市内幼稚園、保育所に通う発達に心配のある子どもに適切な対応ができるように、わかば学園から臨床心理士等の専門家を派遣し、保育士及び幼稚園教諭に適切な療育のための指導・助言を行っています。統合保育の推進を図るため、今後も継続して行っています。	出張相談箇所数	21	32	27 (見込)	通園療育と、幼稚園・保育園などを併用するお子さんが増え、統合保育が進んできた。こうしたお子さんの集団適応を促し、地域生活を送りやすくするため、関係機関からの要請に応じて広く相談助言を行っている。	事業に対する認識が広まり、多くの保育・教育機関から相談の希望がある。こうしたニーズの広がりに対応するため、専任の相談員を設置し、地域での適応や、サービス利用の支援の充実を図る。	数値目標なし	数値目標なし			障がい福祉課	
				出張相談回数	206	214	229 (見込)		数値目標なし	数値目標なし					
4	116	特別支援教育の充実	海老名市では、全小学校・中学校に補助指導員を配置し、対象の子どもに応じた介助員の配置等を行っています。特別な支援を必要とする児童・生徒が、安心して充実した学校生活が送れるよう、今後も継続し、支援体制の整備・充実を図ります。	数値目標なし				補助指導員を各校1名配置した。対象児童生徒数の増加に応じて、前年度より介助員を4名、看護介助員を1名増やした。	各学校の状況等を十分に把握したうえで、補助指導員・介護員等の配置を行い、支援を必要とする児童生徒が安心して学べるよう支援体制の充実を図る。	数値目標なし	数値目標なし			教育支援課	
5	116	特別支援教育の就学奨励	特別支援学校、小学校・中学校の特別支援学級等に在席する児童・生徒の保護者が負担する教育関係経費を、家庭の経済状況等に応じて補助を行っています。対象となる経費は、通学費、給食費、教科書費、学用品費、修学旅行費などです。国の基準に基づいた認定・給付を、今後も継続して行います。	数値目標なし							特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し、就学に必要な援助を行った。	今後も、国の基準に基づいた認定・給付を継続して行う。	数値目標なし	数値目標なし	
審議結果			・発達に不安を抱える家庭やその児童の支援のため、わかば学園での相談体制・カウンセリングの充実や、保育園・幼稚園への臨床心理士等の派遣、小学校での補助指導員の配置など専門職員を配置した特別支援教育への取り組みは、一定の評価ができるが、十分ではないため、人員拡充について取り組まれない。 ・障がいを持つ子どもたちが望む生活が地域で送れるよう、居場所を地域で確保することは、本人だけではなく、地域全体を豊かにすることにつながる。子どもや保護者の意向を把握しながらサービスの提供を行われたい。												

■海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況（教育・保育関係）

◆ 基本目標

2 幼児の教育・保育の課題解消に向けた取組の推進

○ 基本施策

（１）幼児教育・保育施設の充実

1 教育・保育施設の目標事業量

【事業の説明】

保護者の就労や疾病などの理由により保育が必要な児童に対し、保育認定を行います。認定は、年齢別に区分され、0～2歳は3号認定、3歳～就学前は2号認定となります。保育ではなく教育（幼稚園など）が必要な場合は、1号認定を行います。

【実績・目標指標】

教育・保育認定者数

※ 現状、幼稚園にあっては教育認定を受けずに利用できる施設（私学助成型幼稚園）もあるため、1号認定者数にはこれらの幼稚園の利用者数も含めます。

【実績値・目標値】

教育・保育を必要とするため、認定を受けた子どもの数は次のとおりです。

◆ 【0歳児】保育施設＋地域型保育事業（3号認定）

	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H28年度 目標	H29年度 目標	H30年度 目標	H31年度 目標
認定者数	100	144	132	167	167	166	165

◆ 【1・2歳児】保育施設＋地域型保育事業（3号認定）

	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H28年度 目標	H29年度 目標	H30年度 目標	H31年度 目標
認定者数	552	556	722	712	712	709	712

◆ 【3歳～5歳児（就学前）】①教育施設（1号認定）

	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H28年度 目標	H29年度 目標	H30年度 目標	H31年度 目標
認定者数	2,336	2,319	2,257	2,184	2,191	2,224	2,214

※ 認定を受けずに利用できる施設（私学助成型の幼稚園）の利用者数も含みます。

◆ 【3歳～5歳児（就学前）】②教育施設（保育時間利用希望）（2号認定）

	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H28年度 目標	H29年度 目標	H30年度 目標	H31年度 目標
認定者数	-	-	-	332	333	338	337

◆【3歳～5歳児（就学前）】③保育施設（2号認定）

	H26 年度 実績	H27 年度 実績	H28 年度 実績	H28 年度 目標	H29 年度 目標	H30 年度 目標	H31 年度 目標
認定者数	942	984	1,045	838	841	853	849

※ 数値は各年度4月1日現在

※ 支給認定制度は平成27年度から実施しているため、平成26年度にあつては待機児童調査における保育所入所申込者数を利用しました。

【平成28年度実施状況】

保護者の就労や疾病などの理由により保育が必要な児童に対し、保育認定を行いました。また、教育認定が必要な施設型給付型幼稚園の利用を希望する方には、1号認定を行いました。

このほか、私学助成型幼稚園の利用を希望する場合には、希望に合った利用ができるよう窓口案内等を行いました。

【次年度に向けた改善点等】

支給認定を行った方に対しては、支給認定証を発行していますが、保護者にとって施設利用の手続きに当たり必要な証紙ではなく、国から運用変更を可能とする通知が発出される予定であるため、運用の改善を検討します。

また、2号認定における教育施設の利用については、幼稚園の預かり保育を定期利用する場合などを想定していましたが、計画上、保育施設（認定こども園含む。）での定員で確保できるため、保育施設での受け入れ数に参入するよう見直しについて検討します。なお、希望者が幼稚園の預かり保育を利用できる環境整備については、本編96ページ「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）」で取り組みます。

2 幼稚園充実事業

【事業の説明】

幼稚園については、一定のニーズが見込まれます。市では、既存の園の施設を活用し、少しでも多くの児童が受け入れられる状況を確保できるよう取り組みます。定員を拡大する幼稚園や、地域型保育事業の連携施設として新制度の運用に積極的に取り組む幼稚園に対して運営費を助成し、待機児童解消のための環境整備を行います。

【実績・目標指標】

施設定員

量の見込み（利用希望者数）

利用児童数（市外施設の利用者を含む。）

【実績値・目標値】

【3歳～5歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	2,045	2,130	2,130	2,464	2,464	2,044	2,044
量の見込み	2,336	2,319	2,257	2,508	2,516	2,554	2,543
利用児童数	2,336	2,319	2,257	-	-	-	-

【平成28年度実施状況】

私立幼稚園に対して、障がい児の受入れや備品の購入に係る運営費の一部補助を行いました。

私学助成型幼稚園には、就園奨励費補助金及び就園援助費補助金（市単独）を支給しました。施設型給付型幼稚園は、市で保育料を設定し、就園援助費補助金（市単独）を支給しました。

【次年度に向けた改善点等】

引き続き、国制度に基づく措置のほか、私立幼稚園に対して運営費の一部補助を行い、就園援助費補助金（市単独）を支給することで保護者の負担軽減を図ります。

3 保育所充実事業

【事業の説明】

保育を必要とする児童の預け先として、国及び神奈川県が定める基準を満たし、就学前まで在園できる認可保育所を運営します。また、子育て家庭のニーズに応じて計画的に整備を進めていきます。整備に当たっては、新設のほか、現在の認定保育施設について、認可保育所に移行させることによって定員を確保します。

【実績・目標指標】

施設定員

量の見込み（利用希望者数）

利用児童数（市外施設の利用者を含む。）

【実績値・目標値】

【0歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	125	132	139	144	150	156	156
量の見込み	100	112	131	155	143	138	137
利用児童数	95	99	114	－	－	－	－

【1歳～2歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	438	459	523	535	565	584	584
量の見込み	552	642	706	671	637	633	630
利用児童数	495	525	580	－	－	－	－

【3歳～5歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	947	979	1,118	1,101	1,155	1,190	1,190
量の見込み	942	986	1,045	945	941	942	963
利用児童数	923	968	1,030	－	－	－	－

【平成28年度実施状況】

保育を必要とする子どもの保育環境を整えるため、順次認可保育所を整備し、利用数の拡大を図りました。

平成28年4月開所分については、次のとおりです。

- ・認可外保育施設の認可化（おひさま保育園）60名増

- ・認可保育所の定員拡大（上河内保育園・社家ゆめいろ保育園）90名増
- また、平成29年度の開所に向け、次の施設の開設準備を進めました。
- ・ナーサリースクールT＆Y本郷（78名）平成29年5月開所
 - ・ひなた保育園（72名）平成29年9月開所予定

【次年度に向けた改善点等】

特に1・2歳児について、量の見込みに対し定員が不足しているため、引き続き整備に取り組めます。しかしながら、平成31年度以降に量の見込みが減少に転じることが想定されるため、施設整備だけにとどまらず、既存施設の定員拡大等の方法によっても必要量を確保することを検討します。

4 認定こども園充実事業

【事業の説明】

認定こども園とは、就学前の子どもの教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを合わせもっています。保護者の就労状況に関わらず、子どもの教育・保育の提供の他、子育て相談など地域での子育て支援の実施も行います。

海老名市では、既存の幼稚園が認定こども園への移行することが見込まれ、今後、市内に1園の開園を予定しています。ニーズ調査の結果から、子どもの定期的な教育・保育事業の今後の利用希望の傾向は、「低年齢の保育ニーズ・年中以上の教育ニーズ」が高くなっており、これを両立する施設である認定こども園の設置は、ある程度の需要が見込まれるものと考えられます。

【実績・目標指標】

施設定員

量の見込み（利用希望者数）

利用児童数（市外施設の利用者を含む。）

【実績値・目標値】

【0歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	-	-	-	-	6	6
量の見込み	0	0	0	-	-	6	6
利用児童数	0	0	0	-	-	-	-

【1歳～2歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	-	-	-	-	18	18
量の見込み	0	0	2	-	-	18	18
利用児童数	0	0	2	-	-	-	-

【3歳～5歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	-	-	-	-	※470	※470
量の見込み	0	1	0	-	-	※470	※470
利用児童数	0	1	0	-	-	-	-

※うち36名は保育部分利用

【平成 28 年度実施状況】

市外の認定こども園の利用を希望する場合、所在市町村との協議など、必要な手続きを行いました。

【次年度に向けた改善点等】

市内の幼稚園・認可保育所から移行を希望することが想定されるため、必要な情報収集を図ります。

5 小規模保育事業

【事業の説明】

3歳未満の子どもを対象に、6人から19人を定員とし、家庭的な雰囲気での保育を実施する事業です。子ども・子育て支援制度では、市の新たな認可事業として位置づけられており、子育て家庭のニーズに応じて計画的に整備を進めていきます。

【実績・目標指標】

施設定員

量の見込み（利用希望者数）

利用児童数（市外施設の利用者を含む。）

【実績値・目標値】

【0歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	6	6	10	10	10	10
量の見込み	-	4	1	10	10	10	10
利用児童数	-	4	1	-	-	-	-

【1歳～2歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	13	13	28	28	28	28
量の見込み	-	12	14	28	28	28	28
利用児童数	-	12	14	-	-	-	-

【平成28年度実施状況】

平成29年4月1日に開園した海老名キッズルーム（定員12名）に対し指導・助言及び補助を行いました。

【次年度に向けた改善点等】

認可保育所を補完する施設として、需要が見込まれる地区での開所の可能性について引き続き検討します。

6 家庭的保育事業

【事業の説明】

子ども・子育て支援制度では、市の新たな認可事業のひとつに位置づけられています。保育者の居宅等で、5人以下の3歳未満の子どもを家庭的な雰囲気の中で保育するものです。市の子育て家庭のニーズに応じて計画的に整備を進めていきます。

【実績・目標指標】

施設定員

量の見込み（利用希望者数）

利用児童数（市外施設の利用者を含む。）

【実績値・目標値】

【0歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	-	-	-	1	1	1
量の見込み	0	0	0	-	1	1	1
利用児童数	-	-	-	-	-	-	-

【1歳～2歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	-	-	-	4	4	4
量の見込み	0	0	0	-	4	4	4
利用児童数	-	-	-	-	-	-	-

【平成28年度実施状況】

運営を希望する事業者からの設置相談に応じました。（実施には至らず）

【次年度に向けた改善点等】

認可保育所を補完する施設として、運営を希望する事業者に対して適正に対応できるよう補助制度等を含め必要な情報収集を進めます。

7 居宅訪問型保育事業

【事業の説明】

3歳未満の乳幼児の居宅において1対1を基本とする保育を実施する事業です。保育所等では対応しきれないニーズ等、家庭の事情に応じて柔軟に利用できるため、個別的な保育を望む利用者からは評価されています。

子ども・子育て支援制度では、小規模保育等と同様に、市の認可事業として位置づけられており、ニーズに応じた整備を進めます。

【実績・目標指標】

施設定員

量の見込み（利用希望者数）

利用児童数（市外施設の利用者を含む。）

【実績値・目標値】

【0歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	-	-	-	5	5	5
量の見込み	0	0	0	-	5	5	5
利用児童数	-	-	-	-	-	-	-

【1歳～2歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	-	-	-	5	5	5
量の見込み	0	0	0	-	5	5	5
利用児童数	-	-	-	-	-	-	-

【平成28年度実施状況】

他市町村における運営状況等について情報収集を図りました。

【次年度に向けた改善点等】

利用希望、運営を希望する事業者ともに全国的にもまれであるため、整備の必要性について検討を進めます。

8 事業所内保育事業

【事業の説明】

企業が、仕事と子育ての両立を支援するため、従業員の子どもの預かり、保育することに加え、地域の3歳未満の子どもで保育を必要とする乳幼児も受け入れることができる施設として、事業所内保育事業の整備を進めます。

【実績・目標指標】

施設定員

量の見込み（利用希望者数）

利用児童数（市外施設の利用者を含む。）

【実績値・目標値】

【0歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	-	-	-	6	6	6
量の見込み	0	0	0	-	6	6	6
利用児童数	-	-	-	-	-	-	-

【1歳～2歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
施設定員	-	-	-	-	24	24	24
量の見込み	0	0	0	-	24	24	24
利用児童数	-	-	-	-	-	-	-

【平成28年度実施状況】

託児所の設置希望がある事業者からの設置相談に応じました。（実施には至らず）

【次年度に向けた改善点等】

本制度による事業所内保育事業とは別に、認可外保育施設ながら認可施設並みの整備費・運営費補助が受けられる「企業主導型保育」が平成28年度から開始されました。

「企業主導型保育」については、海老名市内でも平成29年度から運営を開始している企業があるため、本事業とのすみわけについて検討します。

9 幼稚園就園奨励費補助金支給事業

【事業の説明】

海老名市在住で、幼稚園に就園させている保護者を対象に、世帯の市民税課税額、対象児の兄弟の年齢・人数等を勘案し、所得制限はありますが補助金を支給します。

【実績・目標指標】

対象者数（実績値）

幼稚園利用児童数（目標値にあつては、量の見込み）

※ 市外施設の利用者数を含む。

【実績値・目標値】

【3歳～5歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
就園奨励費対象者数	1,856	1,309	1,256	－	－	－	－
幼稚園利用児童数	2,336	2,319	2,257	2,176	2,183	2,216	2,206

※幼稚園利用児童数には、就園奨励費の対象とならない者も含む。

【平成28年度実施状況】

新制度に移行した2園を除く市内6園のほか、市外の対象幼稚園に通園する児童に対しても、国庫補助を活用し補助を行いました。

【次年度に向けた改善点等】

国により幼児教育の段階的無償化に向けた取組が平成28年度から行われており、平成29年度にあつても拡大されるため、必要な対応を図ります。

10 幼稚園就園援助費補助金支給事業

【事業の説明】

海老名市在住で、幼稚園に就園させている保護者を対象に、園児1人につき、保育料の一部を補助します。所得制限はありませんが、対象児の兄弟の年齢・人数等により補助金の額が異なります。

【実績・目標指標】

対象者数（実績値）

幼稚園利用児童数（目標値にあつては、量の見込み）

※ 市外施設の利用者数を含む。

【実績値・目標値】

【3歳～5歳児】

	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
就園援助費対象者数	2,336	2,319	2,257	2,176	2,183	2,216	2,206
幼稚園利用児童数	2,336	2,319	2,257	2,176	2,183	2,216	2,206

【平成28年度実施状況】

新制度に移行した園も含め、すべての幼稚園に通園する海老名市在住の児童に対し、補助を実施しました。

【次年度に向けた改善点等】

引き続きすべての幼稚園に通園する海老名市在住の児童に対し補助を実施し、保護者の負担軽減を図ります。

審議結果	・待機児童解消が社会問題となる中、着実な取り組みにより定員を拡大してきた点は評価できる。しかしながら、まだ利用希望者が全員保育を利用できる段階には至っていないため、引き続き取り組みを進められたい。なお、今後の人口減少も予測されることから、保育の質を担保する観点からも、施設整備に際しては、その立地や規模にも十分に検討を図られたい。
------	--

○ 基本施策

(2) 待機児童解消に向けた公立保育所のあり方

1 公立保育所による保育の需給調整

【事業の説明】

本計画の期間中に、保育ニーズがピークを迎えるため、民間保育所の整備に合わせた公立保育所の定員増を図り、海老名市の子育て世帯の保育ニーズに応えていきます。しかし、ニーズ調査結果や人口動態等を鑑みると、需要のピークが短期間であることが見込まれます。このため、定員増を図る保育所の施設は、基本的にリース物件による仮設園舎によるものとします。また、保育需要が供給量を下回り保育施設に余裕が生じる時期には、定員を減少させるなど需給調整を行い、民間保育所の経営を圧迫することがないように運営していきます。

中長期的には、保育需要はさらに減少することが見込まれるため、公立保育所の再編計画を別途策定します。この中で、地域ごとのニーズを慎重に見極めながら、既存の公立保育所においても定員の縮小を図るほか、民間保育所において地域の保育ニーズに対応できる場合は、公立保育所を廃止し、他の公立保育所に機能を統合することなどを定めていきます。

【実績・目標指標】

数値目標なし

【平成 28 年度実施状況】

上河内保育園について、定員拡大（60 名）を図り、預け先を確保しました。

保育需要が減少を迎えた後であっても、地理的に保育需要が見込める下今泉保育園について、老朽化対策及び定員拡大（30 名）を図るべく、平成 29 年 10 月の完成を目指し、建て替え工事を開始しました。

下今泉保育園について、保育サービスの向上と運営の効率化を図るため、平成 30 年 4 月からの運営移行に向け、社会福祉法人妙常会を指定管理者に指定しました。

【次年度に向けた改善点等】

下今泉保育園について、平成 30 年 4 月から円滑に指定管理者制度に移行できるよう協議を進めます。

また、他の公立保育園について、将来的な定員の減少を踏まえ、募集停止時期等を設定する必要があるため、定員減少にかかる具体的な検討に着手します。

審議結果

・民間任せにすることなく、公立保育園も積極的に待機児童問題に取り組んできた点は評価できる。保育需要が減少に転じたのちは、定員減を図ることとしているが、人口減少が見込まれる地区での保育所の運営や障がい児保育など、公立保育所にしかできない役割もある。地域の保育のけん引役として、海老名市の保育の質の向上のための役割も果たしていただきたい。

平成 2 8 年度
事業 報 告 書



海老名市立子育て支援センター

平成28年度子育て支援センター事業報告

子育て支援センターは、広場やサロン、子育て講座などの実施を通して、育児に関する相談を受け子育ての不安感等を緩和するとともに、子どもの健やかな成長を支援することをねらいとしています。

広場やサロンは、異年齢の子どもで遊ぶことができる「すくすく広場」、親子でゆったり遊ぶことができる「おやこプレイルーム」、同じ月齢の子ども同士で遊ぶことができる「年齢別サロン」、コミセンなどを会場とした「移動サロン」、初めて利用する親子を対象とした「ビギナーサロン」を実施しました。こうした広場やサロンを通して、子どもの発育やしつけ、食事や栄養などの相談を受けるとともに、必要に応じて助言を行いました。

子育て講座は、育児や仕事に役立つ知識を学ぶほか、親子で体を動かし絆を深めることを目的に開催しました。

また、仲間同士で楽しく子育てができるよう、子育てサークルに対して遊ぶ場やおもちゃなどを貸し出して自主的な活動を支援しました。

そのほか、子育てと仕事の両立を支援する「ファミリー・サポート・センター」や病気の回復期の子どもを一時的に預かる「病後児保育」を実施しました。

平成28年度の新規事業としては、ファミリー・サポート・センターの利用を促進するため、平成28年10月から援助活動に対して報奨金を支給することにしました。

また、子育て講座では、親子で楽しく運動することができる「親子リトミック」、「ママとあそぼう」、「ZUMBA」を初めて開催しました。

このほか、これまでコミセン等で月1回実施していた「移動サロン」を月2回に増やし、利用の向上を図り子育て家庭を支援しました。

子育てを取り巻く状況が大きく変化している中で、今後も民生児童委員や主任児童員をはじめ、ボランティア、関係機関の方々と連携して、事業内容の充実を図るとともに、誰もが安心して気軽に利用できる施設づくりに努めていきます。

事 業 概 要

N O	事 業 名	概 要
1	育児相談	電話や来所により相談を受け、必要に応じて助言、指導を行った。
	すくすく広場	広いスペースを利用して親子で自由に遊ぶことができる広場として実施した。
	おやこプレイルーム	親子でゆったり過ごすふれあいスペース、いつでも自由に遊ぶことができる場として実施した。
	年齢別サロン	同じ月齢の子ども同士が自由に遊ぶことができ、親同士の交流を深める場として実施した。
	移動サロン	親子が身近な場所で交流を深めることができるようコミセンや文化センターなどを会場として実施した。民生委員や主任児童委員等と連携を図った。
	ビギナーサロン	利用の仕方がわからない、顔見知り同士の輪の中に入るのが不安な方を対象とした遊びの場
	すくすく祭り	子どもがさまざまなゲームや催物を楽しみ、互いにふれあう場として開催した。
	消防署見学	子どもが好きな消防車を見学し、家族で防災知識を深める機会として開催した。
	子育て講座	子育てに必要な知識を学ぶとともに、親のストレスを解消する機会として開催した。
	サークル支援	サークル活動を支援するため、施設の一部を開放するとともに、絵本やCDなどを貸し出した。
2	ファミリー・サポート・センター	子どもを預けたい人と預かる人をコーディネートし、仕事と子育ての両立を支援した。
3	病後児保育	病気やケガの回復期にある子どもを一時的に預かり子育て家庭を支援した。

1 育児相談

内容：電話や来所などにより育児に関する不安や悩みの相談を受け、安心して子育てができるよう必要に応じて助言を行いました。

場所：子育て支援センター

受付：月曜日～土曜日 午前 8：30～午後 4：30

平成 28 年度の相談件数は、2,170 件となりました。そのうち 2,015 件をサロンや広場で相談を受けました。

相談内容では、「子どもの食事・発育等」が 1,110 件と最も多く、次に「子どもの言葉・行動・しつけ等」の 688 件、「保護者の友達・健康等」の 218 件となりました。

年度別相談件数

(件)

年 度	電 話	来 所	サロン・広場	計
平成24年度	345	20	1,260	1,625
平成25年度	82	15	2,098	2,195
平成26年度	134	30	2,447	2,611
平成27年度	145	22	2,063	2,230
平成28年度	126	29	2,015	2,170

*平成25年度以降の電話相談では、簡易な問い合わせを集計から除いています。

年度別相談内容

(件)

年 度	子どもの 食事・発育等	子どもの言葉・ 行動・しつけ	子どもの 友達・保育園等	保護者の 友達・健康等	計
平成24年度	837	425	188	175	1,625
平成25年度	968	594	257	131	1,950
平成26年度	1,304	904	225	178	2,611
平成27年度	1,014	772	215	229	2,230
平成28年度	1,110	688	174	192	2,170

2 すくすく広場

内容：すくすく広場は、広いスペースで親子が自由に遊ぶことができる場です。

異年齢の子ども同士が遊びを通してふれあい、感性を育むとともに、親同士が交流を深めることができる機会として実施しました。

場所：保健相談センター 3階 健康増進室

回数：月 6 回～10 回 時間：午前 9:00～11:30 午後 1:00～4:00

平成 28 年度のすくすく広場は、100 回実施し、8,128 人の利用がありました。前年度に比べると、594 人減り、1 回当りの利用者数は、81 人になりました。

すくすく広場 対前年度比較

(人)

年 度	回 数	利 用 者 数			利用者数／回数
		大 人	子 ども	計	
平成27年度	101	4,034	4,688	8,722	86
平成28年度	100	3,808	4,320	8,128	81

すくすく広場 年度別利用状況

(人)

年 度	平 日				土 曜 日				計
	回数	大人	うち父親	子ども	回数	大人	うち父親	子ども	
平成24年度	38	1,233	15	1,479	24	969	163	1,051	4,732
平成25年度	51	1,986	22	2,174	23	1,076	260	1,073	6,309
平成26年度	88	3,307	28	3,503	24	895	164	898	8,603
平成27年度	82	3,423	36	4,001	19	611	99	687	8,722
平成28年度	77	3,114	58	3,562	23	694	154	758	8,128

3 おやこプレイルーム

内容：おやこプレイルームは、親子が自由にゆったり遊ぶことができ、親子の絆を深めとともに、他の親子と交流できる機会として実施しました。

場所：保健相談センター3階 プレイルーム

時間：月曜日～土曜日 午前9:00～11:30 午後1:00～4:00

平成28年度のおやこプレイルームは、新たに土曜日の午後も実施しました。470回実施し、9,516人の利用者がありました。昨年度に比べ1,153人減り、1回当りの利用者数は、20人となりました。

おやこプレイルーム 対前年度比較

(人)

年 度	回 数	利 用 者 数			利用者数／回数
		大 人	子 ども	計	
平成27年度	431	5,032	5,637	10,669	24
平成28年度	470	4,387	5,129	9,516	20

おやこプレイルーム 年度別利用状況

(人)

年 度	大 人	子 ども	計
平成24年度	4,192	4,929	9,121
平成25年度	4,654	5,322	9,976
平成26年度	4,521	5,087	9,608
平成27年度	5,032	5,637	10,669
平成28年度	4,387	5,129	9,516

4 年齢別サロン

内容：年齢別サロンは、安心して楽しく遊ぶことができるよう同じ月齢の子どもと親を対象に実施しました。また、共通の悩みを持つ親同士が仲間づくりすることができる機会となっています。

場所：保健相談センター 健康増進室

回数：月5回～8回 時間：午前9:00～11:30 午後1:00～4:00

子どもの月齢を「1～5か月児」、「6～11か月児」、「1歳児」、「2歳以上児」の4つに分けて実施しました。

平成28年度は、90回実施し、4,083人の親子が利用しました。利用者数は昨年度に比べ増加しました。特に、6～11か月児を対象としたサロンの利用者数と1歳児を対象にしたサロンが増えました。

年齢別サロン 対前年度比較

(人)

年 度	回 数	利 用 者 数			利用者数／回数
		大 人	子 ども	計	
平成27年度	42	1,296	1,373	2,669	63
平成28年度	90	1,995	2,088	4,083	45

年齢別サロン 年度別利用状況

(人)

年 度	1～5か月児		6～11か月児		1歳児		2歳児以上		大人計	子ども計	合計
	大人	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人	子ども			
24年度	1,023	1,027	1,131	1,162	1,118	1,156	612	812	3,884	4,157	8,041
25年度	1,051	1,026	981	986	953	972	613	760	3,598	3,744	7,342
26年度	348	357	472	473	510	514	266	266	1,596	1,610	3,206
27年度	316	300	374	373	344	346	262	354	1,296	1,373	2,669
28年度	434	430	627	625	618	630	316	403	1,995	2,088	4,083

5 移動サロン

内容：移動サロンは、コミセンなど地域の身近な場所で親子一緒に楽しく遊ぶことができ、親同士の交流を深める機会として実施しました。

場所：コミュニティセンター、文化センター、自治会館、北部体育館

回数：月 2 5 回 時間：午前 9:45～11:30 午後 1:45～3:30

移動サロンは、新たに勝瀬文化センターを会場として実施しました。

この結果、平成 28 年度は、市内 13 カ所で 271 回実施し、5,920 人の親子が利用しました。サロン 1 回当たりの利用者は、21 人になりました。

実施にあたっては、各地域の民生委員や主任児童委員をはじめ、ボランティアの方々の協力を得ながら子育て家庭を支援しました。

移動サロン 対前年度比較

(人)

年 度	回 数	利 用 者 数			利用者数／回数
		大 人	子 ども	計	
平成27年度	113	1,467	1,625	3,092	27
平成28年度	271	2,814	3,106	5,920	21

移動サロン 年度別利用状況

(人)

年 度	大人	子ども	計
平成24年度	2,591	3,002	5,593
平成25年度	2,226	2,563	4,789
平成26年度	2,172	2,378	4,550
平成27年度	1,467	1,625	3,092
平成28年度	2,814	3,106	5,920

移動サロン 会場別利用状況

(人)

年 度	柏ヶ谷	大谷	中新田	上今泉	状況	杉久保	門沢橋	本郷	社家	下今泉	勝瀬	国分寺台	河原口	北部	計
24年度	867	249	356	520	567	541	403	145	325	452	—	332	435	401	5,593
25年度	501	372	389	96	765	512	421	—	432	267	—	279	415	340	4,789
26年度	524	266	306	673	509	262	407	—	345	339	—	176	367	376	4,550
27年度	298	207	219	322	371	169	272	—	287	242	—	146	306	253	3,092
28年度	770	356	317	623	501	318	488	—	514	389	231	323	581	509	5,920

*本郷コミセンは、25年度から休止しました。

*27年度は、4月から7月までの間、隔月で実施しました。

*28年度は、各地区で午後も実施。月2回実施となりました。（勝瀬は月1回）

*勝瀬文化センターは、28年度から開始しました。

6 ビギナーサロン

内容：ビギナーサロンは、子育て支援センターの利用の仕方がわからない、人の輪に入ることが苦手の親などを対象に実施しました。他の広場やサロンを気軽に利用することができるように実施しました。

場所：子育て支援センター プレイルーム

回数：月 1 回 時間：午前 9:30～11:00 午後1:00～4:00

ビギナーサロンは、前年度から試行的にスタートしました。

平成 28 年度は、月 1 回実施し、利用人数は 233 人となりました。

ビギナーサロン 年度別利用状況

(人)

年 度	回 数	利 用 者 数		
		大 人	子 ども	計
平成27年度	2	21	22	43
平成28年度	12	119	114	233

7 すくすく祭り

内容：さまざまなゲームや催しを通して子どもと家族が一緒に楽しみ、ふれあうことができる機会として開催しました。

日時：平成28年9月17日（土）午前9:00～午後4:00

場所：保健相談センター3F

平成28年度のすくすく祭りは、「子育てフェスティバル」を統合し、催物の内容を充実して開催しました。子どもの遊びの場として、ヨーヨーすくい、さかなつり、動物コーナー、手づくりおやつの紹介などのほか、着ぐるみショー、高校生による演奏会やペープサート、保育園・幼稚園の紹介などを行いました。

また、大人を対象に体力測定を行いました。平成28年度は、1,026人が参加しました。

すくすく祭り 年度別参加状況

（人）

年 度	大 人	子 ども	計
平成24年度	206	262	468
平成25年度	270	235	505
平成26年度	389	303	692
平成27年度	318	265	583
平成28年度	533	493	1,026

8 消防署見学

内容：家族の絆を深めるとともに、防火防災意識の向上に寄与するため実施しました。

日時：平成28年7月1日（土）午前9:30～11:45

場所：海老名市消防署

見学は、子どもとその家族を対象として2回に分けて実施しました、1回目 39組、2回目 38組の参加になりました。子ども達に人気の消防車両と通信施設を含めた消防署内を見学しました。平成28年度は、236人が参加しました。

消防署見学 年度別参加状況

（人）

年 度	回 数	大 人	子 ども	計
平成24年度	2	233	260	493
平成25年度	2	230	216	446
平成26年度	1	97	81	178
平成27年度	1	102	98	200
平成28年度	1	119	117	236

9 子育て講座

内容：子育てに必要な知識や情報を学ぶとともに、親の健康を増進する機会として実施しました。

場所：保健相談センター 健康増進室

時間：各講座 60分～90分

平成28年度は、新規の講座を含めて9講座を開催し、述べ28回を開催し、1,529人の親子が参加しました。

新規講座として、「親子リトミック」、「ZUMBA」「ママとあそぼう」を開催しました。「親子リトミック」は、1歳9か月以上の子どもと親が音に合わせて一緒に体を動かすことによって、親子の絆を深める機会として実施しました。

「ZUMBA」は、県の健康支援プログラムの一環として開催しました。リズムに合わせて体を動かし、親の体力の向上とストレス解消を図りました。

「ママとあそぼう」は、親子で手あそびやダンスを行うことで互いのふれあいを深めました。

子育て講座 年度別参加人数

(人)

年 度	回 数	参 加 人 数		
		大 人	子 ども	計
平成24年度	15	1,005	1,026	2,031
平成25年度	20	1,198	1,189	2,387
平成26年度	21	868	850	1,718
平成27年度	13	362	342	704
平成28年度	28	773	756	1,529

子育て講座 一覧

(人)

番号	名 称	内 容	回数	定員/回 (組)	参 加 者			
					大人	(うち父親)	子ども	計
1	赤ちゃん体操	赤ちゃんの手足を動かしてスキップと感覚を向上させる。	4	40	152	8	145	297
2	ヨガストレッチ	育児をしながらでもできるヨガストレッチを体験する。	3	40	98	0	99	197
3	ベビーサイン	発語する前の子どものコミュニケーション手段として体験する。	4	50	149	0	149	298
4	使ってみよう A E D	ケガや急な病気に備えてA E Dの使い方を学ぶ。	2	30	56	2	54	110
5	幼児安全法	ケガや急な病気に備えて、救急措置の知識を学ぶ。	2	30	57	3	53	110
6	ベビーダンス	赤ちゃんを抱っこしたまま音楽に合わせて楽しくステップを踏む。	4	30	93	0	93	186
7	パパとたいそう	父親と子どもが一緒に体を動かし遊ぶ。	1	25	22	22	22	44
8	ママとあそぼう	体を使った遊びを通してふれあいを深める。	1	25	23	0	23	46
9	親子リトミック	親子で音楽に合わせて楽しく遊ぶ。	4	20	78	1	77	155
10	ワーキング ママの準備講座	ハローワークの求人、再就職の情報や働き方などを学ぶ。	2	15	29	1	25	54
11	Z U M B A	リズムに合わせて体を動かし運動不足やストレス解消に役立てる。	1	20	16	0	16	32
合 計			28	—	773	37	756	1,529

10 サークル支援

内容：仲間同士で楽しく子育てすることができるようサークル活動を支援しました。主に施設や絵本、CDなどの貸し出しを行いました。

施設利用：1サークル月1回（登録したサークル）、90分程度

平成28年度の登録サークルは、40サークルとなりました。会員数は、393人となり、1サークル当りの会員数は9人になりました。

新規サークルは、13サークルで、解散したのは12サークルでした。

また、施設（サークルルーム）を利用したのは、36サークルとなり、4,051人の親子が利用しました。

サークル 年度別登録数・会員数

年 度	サ ー ク ル			会員数（大人） （人）	会員数／登録 サークル数 （人）
	登録数（組）	うち新規（組）	解散数（組）		
平成24年度	44	8	4	325	7
平成25年度	38	10	16	304	8
平成26年度	41	8	5	344	8
平成27年度	42	10	9	389	9
平成28年度	40	13	12	393	9

サークルルーム 年度別利用者数

年 度	サークル数（組）	大人（人）	子ども（人）	計（人）
平成24年度	34	1,765	2,169	3,934
平成25年度	27	1,860	2,299	4,159
平成26年度	31	2,067	2,333	4,400
平成27年度	31	1,476	1,672	3,148
平成28年度	36	1,853	2,198	4,051

11 ファミリー・サポート・センター

内容：地域の人同士が互いに子育てを支え合うことができるよう支援することを目的に実施しました。

受付：月曜日～土曜日 午前 8:30～午後 5:15

平成 28 年度末現在の会員数は、利用会員 925 人、援助会員 115 人、両方会員 39 人の合計 1,079 人になりました。

活動件数は、2,342 件となり、最も多いのは、「保育園、幼稚園の送迎、預かり」が 1,085 件、次いで「学童保育の送迎、預かり」が 596 件となりました。

平成 28 年 10 月から援助活動を促進するため、援助会員の活動に対して「報奨金」を支給しました。

ファミリー・サポート・センター 年度別会員数

(人)

年 度	利用会員	援助会員	両方会員	計
平成24年度	558	121	29	708
平成25年度	695	108	34	837
平成26年度	783	113	43	939
平成27年度	869	111	41	1,021
平成28年度	925	115	39	1,079

ファミリー・サポート・センター 年度別活動件数

(件)

年 度	保育園・幼稚園の送迎・預かり	学童保育の送迎・預かり	塾・習い事の送迎	保護者の外出	保護者の短時間就労など	保護者の病気や用事など	その他	計
24年度	1,786	512	230	55	13	49	242	2,887
25年度	1,934	481	250	33	12	116	291	3,117
26年度	1,874	460	248	107	11	13	240	2,953
27年度	1,383	525	222	61	16	27	181	2,415
28年度	1,085	596	452	66	20	29	94	2,342

12 病後児保育

内容：病気の回復期やケガなどの子どもを一時的に預かることにより子育てと仕事の両立を支援すると同時に、子どもの健全な発達を促すことを目的に実施しました。

場所：子育て支援センター 病後児保育室

時間：月曜日～土曜日 午前 8:30～午後 5:00 定員：2 名

平成 28 年度は、延べ 98 人の子どもが利用しました。利用した子どもの年齢は、1 歳児が 33 人と最も多く、次に 3 歳児 27 人、0 歳児 13 人の順になりました。

病後児保育 年度別利用者数等

年 度	利用日数 (日)	利用人数 (人)	予約人数 (人)	予約取消数 (人)
平成24年度	62	68	175	107
平成25年度	70	78	202	124
平成26年度	90	114	285	171
平成27年度	63	70	188	118
平成28年度	86	98	203	105

年齢別利用状況

年 齢	児童数 (人)
0 歳	13
1 歳	33
2 歳	6
3 歳	27
4 歳	11
5 歳	1
6 歳	4
7 歳	0
8 歳	0
9 歳	3
計	98

病名別利用児童数

病 名	児童数 (人)
感冒・感冒様症候群	14
咽頭炎	11
扁桃腺炎	3
気管支炎	17
喘息・喘息性気管支炎	6
感冒性胃腸炎	8
その他	49

*病名は複数の場合があります。

13 初めて利用した人の状況

平成 28 年度、1,978 人が広場やサロンを初めて利用しました。

特に、ビギナーサロンは、子育て支援センターの利用の仕方がわからない、親同士の輪の中に入るのが苦手などの不安を和らげるために実施しました。

初めて利用した人の状況

年 度	おやこプレイルーム		すくすく広場		年齢別サロン		移動サロン		ビギナーサロン		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
24年度	430	505	63	159	84	366	167	343	－	－	744	1,687
25年度	452	516	74	199	75	339	130	241	－	－	731	1,574
26年度	405	504	112	357	47	308	138	248	－	－	702	1,714
27年度	431	489	101	317	42	297	113	209	2	43	687	1,613
28年度	470	430	100	294	90	258	271	317	12	206	931	1,978

*27年度ビギナーサロンは試行的に 2 回実施しました。

14 年間利用者数

平成 28 年度の年間利用者数は、39,332 人、年間開所日数は 295 日でした。

サロン・広場事業の年間利用者は 36,892 人で 1 日当たり 125 人の利用がありました。

年度別年間利用者数

(人)

年 度	相 談 件 数	すくすく 広 場	おやこプレ イルーム	年齢別 サロン	移 動 サロン	ビギナー サロン	すくすく 祭り
平成24年度	1,625	4,732	9,121	8,041	5,593	—	468
平成25年度	2,195	6,309	9,976	7,342	4,789	—	505
平成26年度	2,611	8,603	9,608	3,206	4,550	—	692
平成27年度	2,230	8,722	10,669	2,669	3,092	43	583
平成28年度	2,170	8,128	9,516	4,083	5,920	233	1,026

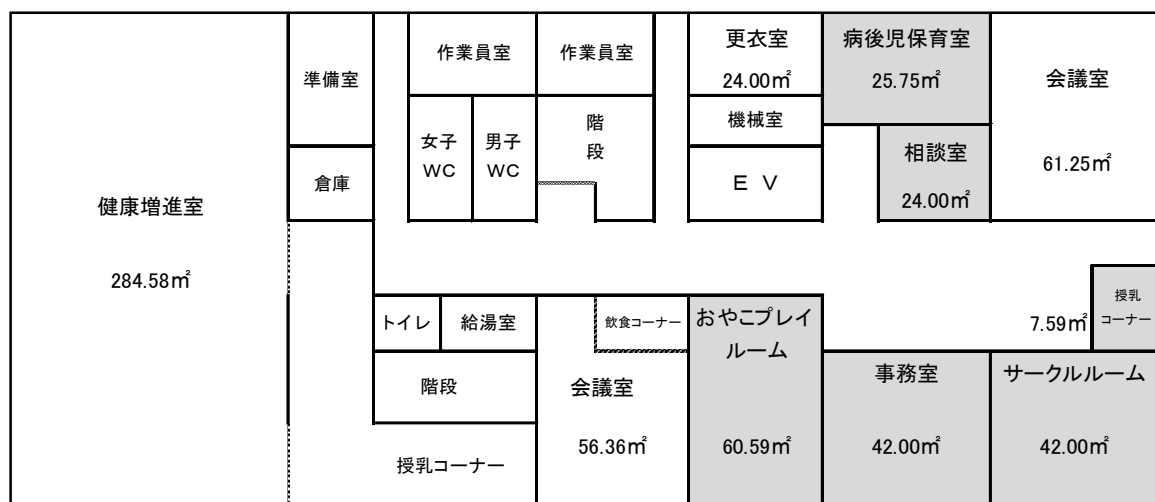
年 度	消防署 見 学	子育て 講 座	サークル ルーム	小 計	ファミサポ 活動件数	病後児 保 育	合 計
平成24年度	493	2,031	3,934	36,038	2,887	68	38,993
平成25年度	446	2,387	4,159	38,108	3,117	78	41,303
平成26年度	178	1,718	4,400	35,566	2,953	114	38,633
平成27年度	200	704	3,148	32,060	2,415	70	34,545
平成28年度	236	1,529	4,051	36,892	2,342	98	39,332

15 参考資料

(1) 子育て支援センターの概要

名 称	海老名市立子育て支援センター
所 在 地	海老名市中新田 3 7 7 番地 保健相談センター 3 F
設 置 日	平成 1 0 年 4 月 (海老名市立中新田保育園内)
開所時間	午前 8 時 3 0 分～午後 5 時 1 5 分
休 日	日曜日、祝日、年末年始 (12/29～1/3)
利 用 料	無料 (ファミリー・サポート・センターは除く)
対 象 者	未就学児とその保護者等
業務内容	(1) 子育てに関する相談 (2) 子育てサークル等の育成、支援 (3) 子育てに関する情報提供 (4) 市内保育所の支援 (5) ファミリー・サポート・センターに関する事業 (6) 病後児保育に関する事業 (7) その他センターの設置目的達成のために必要な事業
施設面積	2 0 1 . 9 3 m ² (述べ床面積)

施 設 配 置 図



(2) 子育て支援センターの沿革

年 月	沿 革
平成10年 4月	子育て支援センターを市立中新田保育園内に設置
同 4月	子育て相談、すくすくサロン、すくすく講座の開始
平成11年 4月	移動サロン（コミセン9、保健相談センター）開始
同 4月	野外サロン、土曜サロン開始
平成12年 4月	河原口自治会館で移動サロンを開始
同 4月	移動サロンで民生委員、主任児童委員と連携開始
平成13年 4月	3周年記念「すくすくフェスティバル」開催
平成14年 6月	「ランチタイム講座」開始
平成16年 6月	国分寺台文化センターで移動サロンを開始
平成18年 4月	子育て支援センターを保健相談センター内に移転
同 4月	「土曜すくすく広場」開始
同 4月	「年齢別サロン」開始
平成20年 4月	「ホッとステーション」開始
平成22年 4月	病後児保育の開始（すこやかハウス保育園より移管）
同 4月	北部体育館で移動サロンを開始
同 11月	「サークル・リーダー情報交換会」を開催
平成23年 3月	「ボランティア養成講座」を実施
同 5月	子育て支援センター利用者アンケート調査を実施（第1回）
平成24年 4月	ファミリー・サポート・センター事業開始（市社協より移管）
同 8月	病後児保育・ファミサポに関するアンケート調査を実施
平成25年 4月	「ホッとステーション」を「おやこふれあい広場」に名称変更
同 4月	本郷コミセンの移動サロンを休止
同 7月	子育てに関するアンケート実施
平成26年 7月	子育て支援センター利用者アンケート調査を実施（第2回）
平成27年 4月	「おやこふれあい広場」を「おやこプレイルーム」に名称変更
同 4月	上河内保育園開園に伴い、一部事業を縮小して実施（4月～9月）
平成28年 4月	「ビギナーサロン」を開始
同 4月	移動サロンを月2回（勝瀬文化センターは1回）に増加
同 9月	「すくすく祭り」に「子育てフェスティバル」を統合して実施
同 10月	ファミサポ援助活動報奨金の支給を開始



海老名市立子育て支援センター
海老名市中新田 3 7 7 番地
電話 046-233-6161